



まずは家庭内で しつけたいことを決めよう!

しつけに対して、大人側から見ると「大人が望む子ども像にしたい」「保護者採点されているようで怖い」「良い子と言われたい」といった思いがあること、とてもよく分かります。しつけとは、「子ども自身が思う気持ちの良い動作、習慣を身につける」「子どもが自信を持って社会に出て行動する為に必要なことや生きるためのルールを身につける」ことが目的です。まずはご家族で子どもにしつけたいことを3~5つほど話し合っただけで決めましょう。そして、決めた後はずっと模倣期だと思ってください。保護者自身が見せるか他の子どもを通して姿を見せるようにしていきましょう。

提案! こんなしつけ・しつけ方!



① 話を聞けるように

じっくり人の話を聞くことができれば、そこから学び、考えることができます。ベビーサインを使って「座る」ことを促し、座ったらたくさん褒めて、丁寧に話しかけましょう。

② 納得して我慢できるように

「が・ま・ん」のベビーサインを一緒にやってみせましょう。大人が怒って我慢させてもなかなか身に付きません。3歳までは辛抱して「ルール」を伝え続けましょう。

③ 自分の意見で行動できるように

「どう思う?」と子どもの意見を聞くようにしましょう。2歳を過ぎたら意見を聞き、その意見が間違っている場合は「こういうことも考えられるよ」とじっくり諭します。